



令和6年12月6日

指導課

川口市立高等学校附属中学校で 原爆被害者による平和学習講演会を実施します

平和社会の実現に貢献できる資質を培うため、川口市立高等学校附属中学校では平和教育を実施しており、来年2月には3年生が研修旅行で広島を訪問する予定です。その事前学習として、実際に被爆されたかたから核兵器の恐ろしさ・悲惨さについて直接お話を聞く講演会を、下記のとおり実施します。

記

- 日時 12月13日（金）11：25～12：55
- 場所 川口市立高等学校附属中学校 大ホール
（川口市上青木3-1-40）
- 内容 平和学習講演会「戦の無い世界を 核兵器の無い地球を」
講師 高橋^{ひろし} 溥 氏

～高橋溥氏プロフィール

埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）副会長、現在85歳。

当時5歳であった1945年（昭和20年）8月6日8時15分、広島市の爆心地から1.5km離れた土手町77番地（現在の稲荷町）で被爆。原爆破裂の瞬間、家屋が倒壊し、生き埋めになるも助けだされ生き延びる。高校生まで広島で生活し、1960年に上京、1971年から埼玉県在住。

学生時代は1歳年上のファッションデザイナーの三宅一生氏と共に絵を描いており、その後、建築デザインの仕事に従事する。